

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

【グループワーク 1】

テーマ：原子力に関心を持つためにはどうしたら良いか？ 無関心は本当にダメなのか？

「原子力への関心」とはそもそも何なのか？

キーワード：原子力アレルギー、原子力のイメージ、モチベーション

A 班

(F) よろしくお願ひします。

テーマについてはいろいろあるとは思ひますけれども、

—— いえいえ、読んで、思っただけの話で。でも、そう思わない人もいるのだなど。

(F) そうですね。確かに貴重なご意見ですけれども、今回はこれで進めさせていただきたいと思ひます。

—— 大丈夫です。もう頭を切り替えましたので。

(F) 最初は3分程度ポストイットに書いてもらおうと書いてありますけれども、3つのテーマについて、同時並行で書いてもらおうということですか？

(サブ F) そうです。

(F) では、砂時計で3分測りますので、3つについて思っただけのことをどんどんポストイットに書くという作業をお願いします。

(記入中)

—— もう貼っていいのですか？

(サブ F) いえ、ご自分のところにストックしておいてください。

(記入中)

(サブ F) あと 1 分です。

—— これはきついですね。

—— 無理に全部書かなくてもいいのではないですか。

(サブ F) そうですね。

質よりも量なので、キーワードをパパッと書くだけで結構です。

(記入中)

(F) では、始めたいと思います。そちらの方からお願いします。

—— 『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』というところに対しては、[わかり易い説明]が必要ではないかということ。

あとは、[迅速な情報開示]です。トラブルが起きたときとかに、そういうものを正確に早めに開示するということ。

『無関心は本当にダメなのか?』については、ちょっとこれは、いまひとつ分かっていなかったんで書いていません。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』については、そもそも [要否の議論]があるのではないかということです。

今回の福島事故などもありますから、どういう危険性があるのか、ちゃんと分かってもらう。放射線の危険性や、臨界の危険性とか。JCO などもありましたけれども。

書いたのですが、ちょっとうまくまとまりませんでした。すみません。

(F) はい。ありがとうございます。では、次の方、お願いします。

—— 私は、『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』については本当に [わかりません]。原子力に関心といっても、私は本当にこれについては全然分からない。

『無関心は本当にダメなのか?』については、[選挙への関心と同じ]なのではないかと私は思いました。選挙権の不履行。忙しいからといって、せっかく選挙権があっても、選挙に行かない。行っても一緒だから、自分 1 人の 1 票くらいで何も変わらないから、というのと一緒で。

で、無関心だったら、最終的にはそれは [自己責任になりますよ] と。だって、勝手に進んでしまうから。

だから、それと一緒に、原子力も、[自分の身の周りに何が起こっているか知らないでい

られるなら大丈夫)。それなら無関心でも大丈夫。健康とか、自分に何が起きているか知らないでも平気だったら、無関心はダメではないのですよ。OKなのです。

ということで、私は、政治への無関心と、放射能や原子力への無関心はほぼ同義ではないかなと思っています。今安倍政権になって、なんとなく原発推進になりつつあるし。なんか、無関心でいるというか、自分の動きを何もしなければ、そのまま既成路線に進むのではないかなと。

『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』と『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』については、うーん、私自身は、関心を持とうと思っているからこそに参加しているですけれども、どうしたら良いかというのは…。だから、こういうフォーラムを作るのが一番でしょうけれども。

(F) では、そちらの方、お願いします。

—— 『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』から行きますけれども、やはり [やさしい説明が必要]、これが大事なのだろうと。

あとは、[中立的考え方の普及]。中立的な考え方がどの辺りにあるのかというのを、ちゃんと出さないといけないかなという気持ちはあります。これは推進派の考え方で、これは反対派の考え方で、ってなってしまうのではなくて。比較的柔軟な小さい子供のうちから、ニュートラルに見るとこうだということをちゃんと知ってもらおうということです。そういうものがないと、やはり、関心を持ってもらえるということになっていかないかなという気持ちはあります。

『無関心は本当にダメなのか?』という点で言えば、これは先ほどのご意見に近いところがあると思うのですけれども、何も知らずに関心を持っていないというのはやはり良くないかなと。知った上で、まあこれはどうでもいいやと思う分には、それはその人の自由意思ということで許されるのかなと。ただ、何も知らない、良く知らないけど分からない、となってしまうと、たぶんネガティブなほうに振れることが多いと思うので、知っていた上で興味ないよと言われる分には納得するのかなというところでは。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』というのは、たぶん、[両極端の立場]の人しか関心を持っていないと思うのですね。

「関心」というキーワードは、ちょっと引かかる場合があると思うのですけれども、例えば原子力資料情報室ってありますよね。あそこに話に行ったときに、「あなたの論文を読んだ」と言われたことがあるのですよ。だから、反対派の方って、すごく関心を持って勉強しているのですよ。そうじゃないと、反対できないから。そういう意味では、「好意を持つ」と言うとポジティブなほうに行ってしまうのですが、「関心」というのは両極端の立場があつて。やはり、何か言ってやろうっていう人間が関心を持っているのかなと。良きにつけ、悪きにつけ、何か関与しよう、というのが関心につながるのかなという感じで

すね。

(F) では、次の方、お願いします。

—— 『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』からいくと、[原子力が生活にどう関わっているか知る]。別に発電だけではなくて、ガン治療などでも放射能を使っているし、意外に身近なんだなということを知ると、関心を持てるかなということです。

『無関心は本当にダメなのか?』は、私はあまり深い意見が出てこなくて。[ダメではないけど、よくない] だろうなと思ったので、ふわっとした意見ですけれども。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』というのは、[意見を持つ前の準備・勉強] ということ。意見を持つことと、関心を持つというのは、イコールじゃないということです。そして、[知ること] だろうなと思いました。真実とか、技術とか、賛否両論、様々な意見を知ることかなと思いました。

あとは、貼り忘れたのですが、[第三者の説明者]、ムラびとでもなく、一般人でもなく、通訳者というか、間に立ってくれる立場や組織があったらいいのではないかなと思いました。

(サブ F) 最後のは、『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』に対する意見ですね。[中立的考え方の普及] となんとなく近いような気がします。

—— ああ、そうですね。

(F) では、次の方、お願いします。

—— 1 つずつ書いていまして。『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』ということで、[現実を知ること、知らせること] が大事かなと。事実というか、客観的な情報というのは、実はできそうでできないところかなと。切り取り方によってそこに主観が入ってしまうところはあると思うのですけれども。ただ、何が起きていて、どんな問題が起こりうるかということ、極力感情を排した形で積み上げていって、では、そういう実態がある中で、それとうまく付き合っていくべきなのか、それとも、やはり根こそぎ駄目なのか、というジャッジをしなければいけないのではないかなと思っています。そういう情報を知らない判断のしようがないので、まずはそういったものをよりオープンに。透明性という言葉とつながると思うのですけれども、そういうものが必要ではないかなと思っています。

『無関心は本当にダメなのか?』というのは、まったく同じ意見です。無関心イコール承認ということが分かれば、仕方がないんじゃないかなと。政治と構造が一緒と

いうのもまったく同じ話です。選挙に行かないということは、現状を認めました、お任せしますということなんだと。そういう意思表示を結果的にしているということをその人が分かった上でやっているのであれば、それがその人の意思ならば、いい。

—— こことも一緒ですよ。

—— ああ、そうですね。問題があるかないかよく分からないのに、そこで放り投げてしまうのはいかん、という話になるのだらうと思います。ただ、(原子力は) 難しいから分からない、という話なのだと思います。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』ということで、「原子力」という影響力の大きいものへのチェック・判断」というのが、原子力への関心ということなのかなと思います。ノンフィクション作家の方とかが書いていますけれども、原子力は人の手でコントロールできないから、今回のようなことが起きているわけで。コントロールができていけば、問題にならないと思うのですよね。ガスを使っても問題にならないのは、あれも爆発したら大変ですけれども、コントロールできているから爆発はほとんどしない。だから、人の手を離れてどんどん勝手に行って、非常に大きな影響を与えるものを使うことについて、判断できるかどうか、というところが関心なのかなという気がしているのですけれども。ちょっとうまく書けたかどうか分からないのですけれども。以上です。

—— チェックと判断というのは、今おっしゃっていた両極端の方のことですよ。チェックされる方はすごく関心を持っていると。

—— まあ、そうですね。

(F) はい。では、私です。

『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』ということは、まず、良いにしろ悪いにしろ、教育の場があれば、皆関心を持つのではないかと。皆ではないかもしれないですが、関心を持つ子は関心を持つのではないかと思いました。

『無関心は本当にダメなのか?』というのは、皆さんと同じです。結局、「原子力」に対して「良い」、「悪い」の判断ができなくなってしまうこと。無関心というのはそういうことなので。それがいいのかどうかは、ちょっと分からないですけれども。まあ、無関心イコール承認であるということが分かっているのであれば、いいと思います。

『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』に関しては、「原子力」と言われたときに、まず皆が興味を持つのは「安全性」かなと思います。本当に安全なのか。先ほどもお話がありましたけれども、社会に対して影響が大きいので、本当に使っているのか。そういうのが原子力への関心につながっていくということです。

それから、少し大きい話をしていくと、〔エネルギー戦略の1つ〕ですよね。これから先エネルギーをどうするのかという話は、原子力と切って切れない話だと思います。自然エネルギーもそうですし、火力でこのまま行くのかという話もあります。原子力というのは、エネルギーの中のひとつなので、それは切っては切れない話かなと思いました。以上です。

そうしたら、貼られた意見に対して意見を言っていくことにしましょう。意見のつながりとか、そういうものもあっても全然 OK です。これに対する反対とか賛成とか、これはどういうことだというのがあれば、自由に発言していただければと思います。新しい意見でもいいと思います。

—— 関心ということと「チェック・判断」というのが結びつかなくて。ごめんなさい、もう1回説明していただけますか。

—— ええと、なんだろうな。チェック・判断をするために、関心を持つということです。要は、業界の方に任せるのではなくて、民主主義のところで言うと、自分たちに決める権利があるという考え方もあるはずで。だけど、なかなか自分たちでは分からないから専門家の力を結局借りなければいけないのだけど、一定の判断をするためには、関心を持たないと当然中身が理解できないので、

—— 新聞を読んでみようとか、ニュースを見てみようとか、そういう気持ちが関心かなと思いました。

—— そうですね。

—— なるほど。「判断するために」ということですね？

—— そうです。

(サブ F) 今のご質問とお答えを付箋に書きましたが、これでよろしいですか？〔関心とチェックの関係が分からない〕に対して、〔チェックをするために関心を持つ〕。

—— 今のご意見と同じかなという気がしました。この〔両極端の立場〕も似ていますよね。ちょっと違うのかな。

(サブ F) 今回は、グルーピングは皆さんのほうで積極的にやってください。

—— ええと、今の「チェック」の話は、判断するために知る必要があるというお話です

よね。

私の意見は、知った結果として立場が両極端に分かれてしまう、という話です。関心とは、そもそも両極端の立場になってしまっているのかな、ということです。

—— プラスとマイナスというか。

—— 「要否の議論」というのは、どういうことですか？

—— 関心を持つためには、本当に必要なのか、要らないものなのか。「要」というのは、先ほどのエネルギーの話もありますし。「否」のほうの話は、危険性とかそういう話ですよ。なんていうのかな、必要性もあるし、必ずリスクも伴うと。(原子力に限らず)ほとんどの技術はリスクが伴っていますから。とにかく、リスクが大きいので。今回の事故もそうですし、過去のチェルノブイリとかもそうですけれども。もし必要であれば、その辺りとどうやって付き合っていくのかという話です。

—— 「安全性」と同じかな。

(F) そういう意見は大事だと思います。

(サブ F) 今のご意見の確認ですけれども、必要性とか、

—— エネルギー戦略上の必要性もあるから、必要性の議論をするということですよ？ 必要性と、不必要も含めてですね？

—— そうです。要否です。

(サブ F) 要否というの、必要性と、

—— 不必要性、不要性ですね。

—— 廃炉にして全部なくしたらいいんじゃないか。ドイツみたいな考え方。

(サブ F) 「原発の必要性・不必要性の議論 リスクとどうつきあうか」と書きましたが、こういうことですね？

—— はい。ということから、関心の内容が分かると思うので。

—— その要否の「議論」の中身というのが、〔エネルギー戦略〕だったり、〔安全性〕だったり。そういう関連でしょうか？

—— そうですね。

—— 〔安全性〕、〔エネルギー戦略の1つ〕が議論の中身ということですよ。

(サブ F) では、これが「議論の中身」(と書き加えた)。

—— 最近、輸出産業という観点が出てきていますよね。

—— そうですね。

—— それも議論の中身ではないですか？ 3つ目ですよ。

—— 私は、「議論」が始まる前の段階が「関心」なのかなと思ったのですよ。

「議論」って、はっきりではなくても、ある程度考えや意見を持った段階でできるものだと思うのですけど。

—— いろいろな段階がありますからね。

—— そうですよ。私は、「関心」って、

(サブ F) すみません、先ほどのご意見は、〔原発の輸出〕でいいですか？

—— そうですね。

(サブ F) これが「議論の中身」の3つ目ということですね。

—— 私は、「関心」って、もっと真っ白な状態から知ることが関心ではないかなと思っていて。関心を持って、知って、それから議論が始まるのかなと。

—— こんな流れ(〔知ること〕→「議論」)ですよ。そして最終的にここにいきつくのかな。「両極端」になるか、「もうわかりません」なのか、どちらか。

—— 私は『無関心は本当にダメなのか?』しか意見がなかったので、『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』に対しては、もう [わかりません] って書くしかなかったのですよ。

—— それも中身ですよ。

—— そうですね。一段落ちる感じなのかな。知った結果、それをチェックしてみて、関心を持ってみて、最後はどちらか ([両極端] または [わかりません]) に落ちると。

—— 何かしらの意見を持つということですよね。

(F) そうですね。ツリーみたいになりましたね。

—— いいなと思うか、いやだと思うか。わからないと思うか。

—— でも、この最後の結論も、0 か 100 かだけじゃないと思うのですよね。政府も、減らすという選択肢も出しているから。

—— 本当に安全なら使うべきだし。

それについてうやむやで、「活断層あるんじゃないの」「でも、もう作っちゃっているから今更」とか、そんなのは嫌なので。

—— そうですね。

—— どうせだったら作る前にもうちょっと調べてほしかったな、とか。

(F) すみません、こちらの議論はある程度収束してきたので、あと 2 つ残っているので、こちらに移りましょうか。

—— 両極端だけではなくて、ファジーなものもありますよね。

(サブ F) ご意見の確認ですけれども、[減らすという選択肢もある]ということですね?

—— ええ、いろいろな意見もある、ということです。

—— 減らすというのは、確かにそうですね。

—— 『無関心は本当にダメなのか?』は、でも、結構似たりよったりですね。

—— そうですね。無関心はダメだけど、それでいいなら自己責任だし、もう承認となってしまうですよ、ということですよ。全部一緒ですね。

(F) そうですね、ほとんど同じ意見ですね。

—— 逆に返すと、無関心イコールそういうことだ、ということをおぼえていなかったらダメということですよ。

—— そうですね。

(F) そうですね。

—— それがおぼえていなければ構わない。おぼえていなければダメなのですよ。

(サブ F) そうしたら、無関心のパターンも 2 つあるということですね。

—— だから、「黙認」であればいいということなのでしょうね。

—— でも、もしかしたら、日本人皆が黙認する気はないけど、なんとなく蚊帳の外というか。原子カムの外の人たちは、無関心ではないのだけど、無関心な状態になってしまっている。

だから、ムラびと以外の人たちにとっては、承認しているつもりもないし、自己責任だと言われても困ると思っても、なんとなく世間の流れとか、なんとなく政府が政治がそうやって推進してやってしまったことに、国民として乗っかってしまっているという感じなのかもしれない。

じゃあ、ブラジルみたいにデモができるかといったら、できませんからね。

(サブ F) こういうご意見でいいですか？

—— 違いますね。無関心になってしまっているけど、

(サブ F) では、なんて書きましょうか？

—— 「無関係」だと思っていたらダメ、ということじゃないですか？

—— ダメだけど、今現在だったらそうなってしまう場合もあるということですよね。

—— 「黙認」はダメということですか？

—— だから、なんていったらいいのかな。難しいな。

—— ただ、私たちは、別に自己責任を取らされるつもりも何のつもりもないわけですよ。ね。「承認していますか？」と言われても、承認しているつもりもないけど、だけど、もう決まってしまう、みたいな感じになっていて。無関心なつもりはないけれども、無関心だと思われたくもないけれども、どうしようもない。

(サブ F) 無関心ではないのだけれども、決められている。

—— 結局そうですね。

—— 自己責任になりますと言われて、何ができるかという、一般の方にはたぶん打つ手がないのですよ。

—— ないですね。

—— エネルギー戦略って、かなりハイレベルなものになってしまうし。

—— 国策でいっているところもありますからね。

—— だから、そこにはたぶん、関与の手段がほとんど残されていない。

(F) 確かに。ただ、思うのは、

(サブ F) これでよろしいですか？ [無関心ではないが、自己責任と言われても困る]。

—— うん、まあ、そんな感じでしょうか。でも、ここを全部足して、全部割ったらこんな感じかな。

(F) でも、ひとつ思うのは、本当に無関心の人もやはりいると思うんです。

—— そうですね。選挙に行かない人もいます。

(F) 関心はあるけど、でもどうしようもないというのは、「黙認」なのですよ。ああ、しょうがないなっていう感じは「黙認」。

全然関係ないよ、知らないよ、っていう人たちが「無関心」であって。そういう人たちに関心を持たせるようにすれば、少しは変わるんじゃないかと。

(サブ F) ごめんなさい、先ほどの〔自己責任と言われても、市民には打つ手がない〕というのは、ここに貼っていいですか？

それで、今の「黙認」というのはどう書いたらいいですか？

—— だから、なんて言ったらいいのかな。

—— この〔打つ手がない〕ところから、「黙認」につながる場合があるということですよ。ね。

—— だから、「黙認」はこの付箋の下に来ますね。

—— 「場合がある」というより、「結果的に黙認になってしまう」ということだと思います。

(サブ F) 「結果的に黙認になってしまう」でいいですか？

(F) それで大丈夫です。

—— 結果的に黙認になってしまうんですね。これが今の日本のシステムですよ。ブラジルがワールドカップを開催するくらいだったら電車代を上げるなってデモしているけど、日本じゃあれをするわけにはいかないから。

—— 原発反対のデモを、毎週金曜日に国会前でやっていますよね。

—— まだやっているんですか？

—— まだやっていますよ。

—— そうなのですか。

(サブ F) グルーピングをしたら、タイトルを一言つけないといけないのですよ。

—— 『無関心は本当にダメなのか?』。「ダメなのか」についてイエスカノーかといったら、どうですか?

—— 条件的イエス、条件的ノーになるのではないのでしょうか。

(F) 条件の上で、イエスカノーかですね。

—— こうだったらこう、みたいな話になると思うのですけど。

—— 私は、一応ダメだと思うけれども。

(F) ないよりは、絶対にあるほうがいいですよ。

—— ダメだとは思いますが、っていう。

このタイトルは難しいのですよ。イエスカノーだったら、それはダメでしょうと思うのですけど。

—— この辺りは、選挙とか政治とか、原子力云々ではない話ですよ。

—— でも結局のところ、無関心ってそういうことですよ?

—— あの、無関心というのはどんな状態か、というのをたぶん今言っているのであって。

—— 「承認」とか、「黙認」とか、ここら辺が皆さんの言葉を象徴しているのではないですか?

—— そうすると、こっちは却下?

—— いや、却下ということではなくて、流れとして、

—— 流れとして、無関心ってそもそもどうよ、という意見があって、無関心だとどうなるかという意見があって、でも、結果として無関心だということふうになってしまっている

るよねという意見があるということですね。

—— で、結局、答えとしてはどうなるのですか？

—— 答えというのがあるわけではないと思うんですけど。

—— タイトルはどれでしょうね。

—— 難しい。

(F) ここに集約すればいいと思うんですけど。

—— 私も、一言だとこれになっちゃうなと思って。ダメとは言わないけれども、良くないんじゃないですか、と。

(総合 F) ファシリテーターさん、あと 15 分になりました。よろしくお願いします。

—— まあ、そうですね。廃炉にするにしても、廃棄物問題とかが必ず出てきますからね。だから、動かす、動かさないは別にして、将来的にもこの辺の話はありますね。

(サブ F) あと 15 分だそうです。

(F) はい。とりあえず『無関心は本当にダメなのか？』をまとめましょう。

—— 「ダメではないけど良くない」というのがまずあって。それがなぜかといったら、自己責任になるし、結果的に黙認になるということなのですよ、というのが理由になりませんよね。

—— で、そうは言っても、そういう人が多いよねという話ですよ。

—— だから関心を持ってもらうためにどうしたらいいかっていう流れになるんじゃないですかね。

—— この付箋も承認と同じ話ですか？

—— それは確かにそうですね。

(F) では、まとめますと、結論としては、ダメではないけど良くはないということ。無関心イコール黙認だということが分かっている方がいいけれども、そういうことも分からずに、何も考えていないのはよくないよ、というところで、ここは落ち着きました。

では、こちらはどうでしょうか。

(サブ F) 『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』のタイトルはどうしますか?

—— このタイトルはなんでしょうね。この辺になってくるのかな。

—— 私もそう思います。

(F) まあ、まず「知る」こと」でしょうね。ここが最初の段階になってくると思うので。

—— でも、そこから膨らませていった意見は全部なくなっちゃうのですか?

(F) いや、そういうことではなくて。まず「知る」こと」で、

—— そこからの流れですから。

—— 『原子力に関心を持つためにはどうしたら良いのか?』に 1 つ付け加えていいですか。

〔教育の場でディベートをする〕。自分の立場を離れて、良い、悪いの立場に立ってやると、主体的に学ぶこともあるでしょうし。

—— この教育というのは、どこで教育を受けさせるのですか?

—— うーん、中学とか高校なのですかね。あまり刷り込みになってはよくないと思っ
いて。

—— 教育というのは怖いものですね。

—— だから、ディベートを、

—— 戦争が始まったらもうあれだし。中国があれだけ反日なのも、反日エリート教育をしたせいだとか言われているから。だから教育はよく考えないといけない。

—— ええ、だからディベートかなと思ったのです。ディベートというのは、価値判断を離れてやるものなので。まあ、そこをちゃんとやらないといけないというところはあるのですけれども。最後に先生が変に誘導したら、という怖さがありますけれども。ただ、そこまで子供って馬鹿でもないと思うので。

—— ちなみに、ドラえもんの動力は、昔は原子炉となっていたのが、今はそれがなくなっていて、

—— ああ、消したんですよ。

—— 消したんですよ。だから、子供が一番大好きなキャラクターだったりするものから原子力を外してしまった。どうして外してしまったのかなと考えてしまうのですよね。結局、子供にドラえもんが原子炉で動いていると思われたくないから消してしまったのか。

—— それも、たぶん、良いほうにも悪いほうにも、どちらにも転がるのですよね。

—— 我々の年代は鉄腕アトムでしたね。

(サブ F) 今、教育というテーマが出ましたので、この辺りは教育というくくりでいいですか？

—— ああ、そうですね。

私、分かりやすい説明も捨てがたいのですけど。

—— あの、捨てる捨てないではなくて。

(サブ F) ここは教育でいいですか？

—— そうですね。そして、その中身が、ちゃんと分かりやすい説明になっていないといけないということですね。

—— この辺りは、第三者とかですね。

—— それはたぶん、教育の中身ですよ。どういう立場の人がどう教えなきゃいけないか、みたいな感じ。

(F) これは教育に限ったことではないと思います。

—— ええ、ではないと思うのです。大人も、というか。

—— ああ。でも教育って、そういう意味では、社会人教育みたいなものもあるし、必ずしも子供にだけやるものではないですよ。社会人大学とかもあるから。

—— 「関心を持つためには」と考えたときに、もうこれしかないと思いますけどね。

(サブ F) [分かりやすい説明] ですね。

—— だって、難しいことを言われたら、途中で眠たくなりますから。[やさしい説明]、[わかり易い説明]。それによって理解する。危険性も理解できる。

ということで、ファシリテーターさん、どうぞ (笑)。

(F) そうですね、グルーピングすると、「教育」と「わかりやすい説明」ですね。それに付随して、そういうことを理解したら、情報開示も有効に効いてきますよ、という話なのですかね？

—— それから、第三者組織的な話もありますよね。

(F) 確かに、これがあつたほうが、皆とつきやすいですね。

(サブ F) 中立とか、第三者というキーワードが出ましたね。

—— 中立な人から、ということですね。

ここをつないでいいですか。[わかり易い説明]、によって、[危険性理解]。

中立な人からの説明を受ける。まあ、分かりやすければ専門家の説明でもいいのですけど。それがなかなか難しいことをおっしゃるから皆関心を持ってないのであつて。

—— ここは、誰から説明を受けるかという形のひとつに、専門家もあるけど、中立的な人もあつていいという話ですよ。

それで、ここは、誰から説明を受けるかに関わらず、説明の仕方として、分かりやすいとか、やさしいとか、迅速な情報開示というやり方かなと思うんですけど。

—— これでよろしいですか？

(F) はい、大丈夫です。わかりやすいです。

—— これは結局、ここに入ってくるんですかね？

—— これは全部理解に関することだから、ここに並べないと。現実を知るとか、危険性を知るとか、いろいろなことを知るといことですよね。

—— これが中身ですね。(分かりやすい説明によって) 知る中身がそういったことになるのかなど。

—— あと、教育のところに1つ付け加えていいですか。

〔「正解のない問い」という認識〕を持って、話をする。やはり、受験勉強とかに慣れている人が多くなってきていて、私が大学教授に言われたことがあるのは、「何か絶対の解があるというふうに思い込みがち」だと。だけど、そうじゃないのだと。

—— 正解はないですよ。だから、ディベートもそれと同じことですよ。

—— そうですね。そうすると、刷り込みとかそういうことではなくなると。

—— 中学生と高校生の子供を持つ親から見たら、うちの子供に勉強させたって、絶対に分からないだろうなと思うのですよね。

(F) 分かることと、興味を持つというのは違うので。きっかけになればいいと思います。

—— きっかけになれば、あとは勝手にやっっていくと思うので。

(サブ F) 「きっかけ」ですね。何がきっかけになればいいですか？ こういう教育が、ですか？

(F) そうですね。

(サブ F) 今のご発言は、[わかると興味を持つは違う。“きっかけ”になれば] でいいですか？

—— 今、教育課程に少し入ってきたのですよね。ただ、先生方自体がゆとりの先生ですから、若い先生は知らないという。今は若い先生ばかりですから。

—— 答えを持たなきゃいけないと思うと、問題が複雑すぎて、すごい大変で、嫌がってしまうと思うので、答えを急がない雰囲気づくりが大事かなと思いました。

(サブ F) それは教育のところでいいですか？

—— 全体的に。

—— そちらの方、何かご意見ないですか？

—— いや、結構言わせていただいたので。

(総合 F) あと 5 分で全体共有の時間にしたいと思いますので、発表の準備を始めてください。

(F) では、これでまとまりはいいですかね。

(サブ F) 発表は誰がされますか？

—— ファシリテーターさんが一番冷静にやっていたらしゃった気がする。

(F) 何かアピールしたいこととか言っていただければ。

—— 私は、今回のテーマについてはあまりないので。

—— そちらの方がいいんじゃないですか？

—— ええ、私もいいと思います。とても中立ですし。理路整然とされているし。感情的でもないし。押し付けないし。

—— これ、『「原子力への関心」とはそもそも何だろうか?』から逆の順で話したほうが話しやすそうですね。

—— それで構わないと思います。

—— じゃあ、私が発表をやりましょうか。

—— 助かります。

(サブ F) ファシリテーションのやり方がよかったですね。

—— 押し付けないし、いいですね。

(サブ F) 今、丸で囲んだところがキーワードになりますね。赤がタイトルとか、どこかに書いておきましょうか。

(F) 大丈夫ですか。なんか、もう終わっちゃいましたけど。

—— ちょっと待ってくださいよ。このキーワードだと、ダメなのか、良くないのか、この広がりは一切ないですよ。

(F) どうしてこういう結論に至ったかという説明をするわけですよ。

—— これだけだとまったく意味が分からないので。中身が大事なのであって。

—— ここの「知ること」というのは、関心を持つ前に、まず基本的な情報がないと、関心の持ちようがないということですよね。

—— だから情報開示なのですよ。情報開示がなかったら知ることもできない。

—— ああ、それはそれでありますよね。

ここでは、知った上で、初めて要否の議論ができる、という話ですよ。

(サブ F) そうですね。この矢印はそういう意味ですね。

—— 知ろうとすること、なのかな。

—— 知る機会を持つとか、たぶんそういう話になってくるのですよね。

でも、それを言い出すとまた話が広がってしまうから、まあ。

(サブ F) でも、今のご意見も書いておきます。知る機会を持つ。知ろうとする。

—— あ、でも、そこは私が言葉で補います。たぶん、こちらの教育とつながってくる話なので。

(総合 F) 皆さん、ありがとうございます。それぞれのグループで本当に真剣に話し合っていたきました。それでは、模造紙をボードに貼ってください。

—— フォローしてください、皆さん。

(サブ F) そうですね。皆さんで助け合いましょう。

<終了>